

## 定期券運賃検索（２）

定期券の運賃検索システムを、作ってみます。今回は、鉄道路線 2 つ以上のパターンです。選択した鉄道路線の駅名がリスト形式で選択できるよう、入力規則を工夫します。範囲指定に、Indirect 関数を使うところがポイント。

### 1. 運賃一覧シートの追加

- ①前回作成した、定期券運賃検索システムを開きます。
- ②「相鉄線」シートをコピーし、シート名を「小田急線」にします。
- ③「小田急線」シートを下図のように修正し、1ヶ月の定期券代（平成 27 年現在）を入力します。

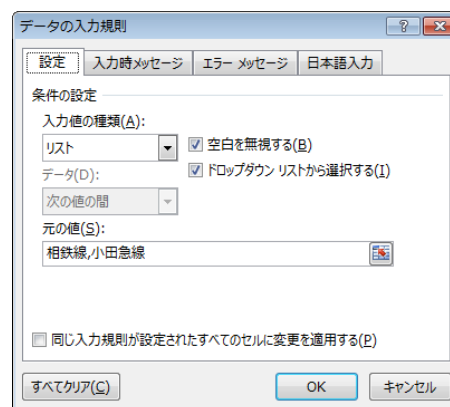
	A	B	C	D	E	F	G
1	駅名	相模大野	東林間	中央林間	南林間	鶴間	大和
2	相模大野		4,120	4,510	5,280	5,650	6,390
3	東林間			4,120	4,510	4,890	6,020
4	中央林間				4,120	4,510	5,280
5	南林間					3,730	4,890
6	鶴間						4,510
7	大和						

- ④前回と同様に工夫して、③表の残りの部分を埋めましょう。

	A	B	C	D	E	F	G
1	駅名	相模大野	東林間	中央林間	南林間	鶴間	大和
2	相模大野	0	4,120	4,510	5,280	5,650	6,390
3	東林間	4,120	0	4,120	4,510	4,890	6,020
4	中央林間	4,510	4,120	0	4,120	4,510	5,280
5	南林間	5,280	4,510	4,120	0	3,730	4,890
6	鶴間	5,650	4,890	4,510	3,730	0	4,510
7	大和	6,390	6,020	5,280	4,890	4,510	0

### 2. 料金検索シートの修正

- ①「料金検索」シートの「路線」を、ドロップダウンリストから選べるようにしましょう。B3セルを選んで、「データ」タブ→「データの入力規則」→「データの入力規則」で「リスト」を選び、「元の値」を「相鉄線,小田急線」にします。



## Excel120

「駅1」「駅2」は、「相鉄線」シートの駅名をリスト表示するように設定されています。これを、「B3セルで選んだシート名の駅名をリスト表示する」というように、修正してみます。

### 〔問題4〕

E4・E5セルに、「B3セルで選んだシートの駅名範囲」が、文字列として表示されるようにします。また、E6セルに、定期券代の参照範囲が文字列で表示されるようにします。たとえば、B3セルで「小田急線」を選んだ場合…

(1)E4セルに、「小田急線!A2:A20」と表示されるように、数式を入力してください。

(2)E5セルに、「小田急線! B1:Z1」と表示されるように、数式を入力してください。

(3)E6セルに、「小田急線!B2:Z20」と表示されるように、数式を入力してください。

### 〔解答4〕

(1) =B3&"!A2:A20"

(2) =B3&"!B1:Z1"

(3) =B3&"!B2:Z20"

②B4セルを選択して、「データ」タブ→「データの入力規則」→「データの入力規則」。

「元の値」欄を、「=Indirect(E4)」と修正します。

③②と同様に、B5セルを選択して、「データ」タブ→「データの入力規則」→「データの入力規則」。「元の値」欄を、「=Indirect(E5)」と修正します。

Indirect関数は、文字列を参照範囲に変換する関数です。

### 〔確認〕

B4・B5セルのドロップダウンリストが、B3で選んだ路線の駅名になっているか、確認してみましょう。

④D4セルの数式「=Match(B4,相鉄線!A2:A20,0)」を、「=Match(B4,Indirect(E4),0)」と修正します。

⑤④と同様に、D5セルの数式を、「=Match(B5,Indirect(E5),0)」と修正します。

⑥B6セルの数式「=Index(相鉄線!B2:Z20,D4,D5)」を、「=Index(Indirect(E6),D4,D5)」と修正します。

### 〔確認〕

「料金検索」シートで、路線を相鉄線や小田急線に変更して、駅名をいろいろ変えてみてください。正しい「定期券代」が、表示されますか。

### 〔問題5〕

D列・E列が見えていると、格好悪いですね。対策を考えてみましょう。